

「社協」は社会福祉協議会の略称です。

社協  
だより

No.168

2022年 新年号

発行：社会福祉法人  
富士市社会福祉協議会  
〒416-8558  
富士市本市場432-1

TEL. 64-6600  
FAX. 64-6567

# お元気ですか

特集 お宝さがし～かけがえのない地域の繋がり～



会長賞

誰マ擦れだすくつけ同い士で  
市川洋子様

## 須津地区 ふれあい・いきいきサロン「たんぽぽ」

令和3年6月～8月に行ったふれあい・いきいきサロンコロナ川柳大会で会長賞を受賞した、市川洋子さんの表彰式が、サロン参加者さんが温かく見守る中、行われました。

いつまでも安心して暮らせる福祉のまちづくり

※社協だより「お元気ですか」は、みなさまからいただいた会費で発行しています。

企画  
お宝さがし

# あれっ?どこかが違うぞ!?

図書カード  
プレゼント!

20名様

AとBを見比べて、違っているところを5ヶ所探してハガキに答えを番号で書いて下さい。



- 締め切り日 令和4年2月25日(金)
- 応募は、はがきに ①解答 ②住所 ③氏名 ④年齢 ⑤電話番号 ⑥こどもの孤食防止・居場所づくりのための「こども食堂」に興味がありますか?  
 ⑦始めてみたい(興味がある) ⑧ボランティアをやりたい  
 ⑨どんな活動か聞いてみたい ⑩興味がない

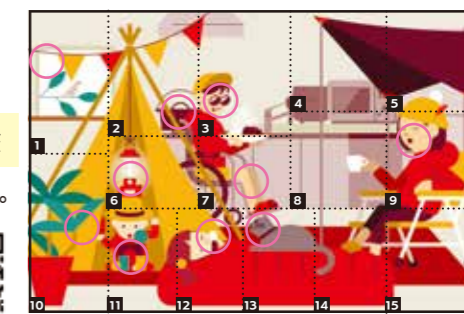
〒416-8558 富士市本市場432-1 富士市社会福祉協議会

- 正解者の中から抽選で**20名様**に図書カード(1,000円分)を差し上げます。
- 当選者の発表は3月15日までに発送をもって代えさせていただきます。
- 応募いただきましたはがきの個人情報は、懸賞目的及び社協事業の情報提供以外での使用はいたしません。

ウェブ申込み  
はこちら



前回(No.167)の答えは①②③⑥⑦⑨⑩⑪⑫⑬でした。  
10箇所のうち5つ分かれば正解としました。



応募総数  
267通  
たくさんのご応募、  
ご意見・ご感想  
ありがとうございました。

たくさんの善意をありがとうございました!

令和3年8月1日～令和3年10月31日(敬称略)

- |                             |                        |
|-----------------------------|------------------------|
| 1. 大丸松坂屋百貨店労働組合静岡支部(4回)     | 9. 公益財団法人鈴木道雄記念財団      |
| 2. ADEKA労働組合                | 10. 林製紙株式会社            |
| 3. 杉山勝                      | 11. まる二 殿岡正美<br>◎匿名12件 |
| 4. 株式会社コーライフ 代表取締役 石川雅博(3回) | 〈交通遺児援護事業指定寄附〉         |
| 5. 株式会社ジュピター 厚原店(2回)        | 1. 大石恵美(3回)            |
| 6. 富士吉原ライオンズクラブ             |                        |
| 7. 川口晴美(愛犬:にしち)             |                        |
| 8. 佐野孝子                     |                        |

ありがとうございました



赤い羽根募金  
歳末たすけあい運動

「手話」覚えてみよう!話してみよう!

75

宝 宝(宝物)

左手の甲に右手  
甲を合わせて、右  
手をグーバーで「ピ  
カピカ」と動かす。  
「宝石」、「宝」の  
意味になります。  
大切と思う表情  
が大事です。



両手で表現する  
ことができます。

## 音読キャラバン (富士駅南地区)

令和2年11月からはじまった、小学生の毎日の宿題である「教科書の音読」を地域のボランティア達がじっくり聞く地域活動です。第2、第4水曜日の14時30分から駅南地区十兵衛南区公会堂にて活動中です。代表の田中裕子さんは、子ども達にとつてのサードプレイスになればとお話してくださいました。

また、日常の活動の中で無理なく楽しく顔と名前が分かる関係を築くことができるため、安心・安全に暮らせる地域、非常時・災害時にも強い地域になるメリットがあると考えられています。親御さんからも、地域の方に音読を聞いていただき、たくさん褒めていただき、子どもの緊張感や、やる気につながっている、家だと家事をしながら聞いてしまうので、とても嬉しく思う、という感想もいただいています。

ボランティアさん方も参加されるたびに子ども達に癒されて、地域に優しさが循環している居場所です。



活動の様子



代表：田中裕子さん

## 桜ヶ丘ふれあいいきいきサロン (広見地区)

地域の高齢者が集まる居場所、桜ヶ丘ふれあいいきいきサロンでは、10月に、参加者が考えたコロナ川柳を公会堂に貼りだし、コロナ川柳発表会をサロン独自に行いました。他の参加者のユーモアたっぷりの力作を見ながら、思わず笑みがこぼれていました。こちらのサロンでは、コロナ禍でも毎朝集まれる人が、ラジオ体操を公会堂で行っていたり、広見公園で青空サロンを開催したり、工夫しながら楽しく活動されています。



**ふれあいいきいきサロンとは**  
高齢者や障がい者の方々を中心に、ボランティアとともに楽しく過ごす居場所です。富士市内に160ヶ所あり、コロナ禍でも、三密を避け集まったり、訪問、手紙などで形を変えながら工夫して繋がっています。

# お宝さがし

～かけがえのない地域の繋がり～

地域での支え合いは、人と人が繋がることから始まります。日常生活の中での住民同士の営みが気にかける関係を育み、支え合う基盤になっています。このような身近な支え合い活動を「お宝」と呼んでいます。



こども食堂「絆」 (元吉原地区)

しかし、昨年から続く新型コロナウイルス感染症により、いろいろな事情で開催が難しいこども食堂もあります。その中でもこども食堂を運営しているみなさんは、お弁当の持ち帰りや公園など広い場所を利用した遊び、DVDの上映会などコロナ対策をしながら、コロナ禍でも熱心に活動しています。みなさんもお近くのこども食堂をのぞいてみてはいかがでしょうか！

## こども食堂 (市内8カ所)

地域住民やNPO法人などが主体となり、無料または低価格で子どもたちに食事を提供するコミュニティの場です。親子での参加もでき、おいしい食事を温かな団らんの中で食べられる食育の場でもあります。

単に子どもたちに食事を提供するだけでなく、家庭や学校のほかに、安心して過ごせる子どもの「居場所」としての役割も担っています。このような場を提供することにより、子どもたちは、社会性やコミュニケーション力を学び、豊かな人間性を培うことができます。

富士市内でも社協が把握しているこども食堂は8カ所あります。場所は吉原、富士見台、今泉、原田、富士駅南、富士駅北、元吉原地区です。今年度は元吉原地区で2カ所こども食堂が立ち上がりました。



こども食堂「うちっち」 (元吉原地区)

## 中野台草取りクラブ (松野地区)

平成30年秋に中野台の住民で、団地内外で草取りをしていた人が出会う草取りをする集まりを作ろうということが発足しました。現在、メンバーは30人以上にもなります。

「組織はシンプル、活動は無理なく」がモットーの活動で、出欠はとらず、作業当日は現地集合、無理のない作業を実施し、綺麗になつたら解散します。主に、広場や公園や遊歩道などで、メンバーが見つけた草が目立つ場所を、草刈り機を用いて一斉に清掃します。団地の見守り活動にもつながっている、地域の助け合い支えあい・困りごと解決の場になっています。



## 富士見台くらし支えあいセンターが開所しました! ～富士市初!手作りの住民参加型生活支援活動～

富士見台くらし支えあいセンターは、地域にお住まいの高齢者を対象に「日常生活の様々な困りごとを地域住民がお手伝いしましょう」という目的で発足しました。センターは、2つの機能があります。1つ目は、高齢者のちょっとした困りごとを地域住民がお手伝いする生活支援活動です。具体的には、話し相手やゴミ出し、電球交換、買い物、草取り、室内の清掃の6つのお手伝いを行います。

2つ目は、富士見台にお住まいの方ならどなたでも立ち寄れる居場所です。お茶を飲みながら、おしゃべりをしたりちょっと体を動かすなどして住民同士の気軽な交流の場になればと思っています。

住民手作りのセンターが、いつまでも安心して暮らせる富士見台につながることを願っています。



開所式の様子



イメージ

家族でもなく友人でもない、  
相談窓口の人でもなく行政の人でもない、  
難しそうなお話をするわけではなく、  
アドバイスなんて言わない、  
『なんとなく話を聞いてくれる人』が  
そこにいる



地域のみなさまとの対話を大切にしています

富士市社会福祉協議会では、“誰もが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすことのできる福祉のまちづくりを推進する”という基本理念をより具体的なものとするため、市内全26地区に地区担当者としてコミュニティソーシャルワーカー(CSW)を配置し、個別の相談ごとへの対応や地域づくりの活動を実践しています。

「制度やしくみでは対応しきれないような生活上の困りごとがある」「とにかく話を聞いてほしい」など“日常生活のことでもどこに話をしたら良いかわからないこと”があったり、そんな話をご近所で聞くようなことがありましたら、富士市社会福祉協議会のコミュニティソーシャルワーカーにぜひ声をおかけください。



CSWの定例会議を毎月開催しています



個別訪問もさせていただきます



地域づくりのお手伝いをしています

問い合わせ 地域支援係 ☎64-6605 メール [chiiki@fujishishakyo.com](mailto:chiiki@fujishishakyo.com)

## 富士地区労働者福祉協議会様と 災害に備えた連携協定を 締結しました。

このたび、富士市社会福祉協議会は、富士地区労働者福祉協議会(労福協)様と「自然災害発生時における災害ボランティアセンター支援に関する連携協定」を締結しました。



災害ボランティアセンター運営に係る設備や備品、資機材、車両、場所、そして何より、労福協様の専門性を生かした人的・物的支援の提供や様々な形で連携ができる今回の協定を締結できたことは、社協にとっても、そしてなにより市民のみなさまにとって大変心強いものだと感じています。

労福協のみなさま、ありがとうございました。

## 福祉委員を中心とした 福祉活動を進めています。 富士川地区福祉推進会

富士川地区福祉推進会は、区ごとに選出された福祉委員を中心に、高齢者のサロン会や子どもの見守りなど区の実情に合った福祉活動を行っています。



富士川地区全体では、約180名の福祉委員がおり、地域の見守り役となっています。また、今年度より組織のスリム化を図り、各区の福祉委員のリーダーが福祉推進会の役員となり、福祉の理解を深めるための勉強会を行っています。

富士川地区の高齢者の現状や認知症サポート養成講座、介護予防について学び、福祉の理解を深める中で、地域の子どもや障がい者、高齢者などの見守りにつながることができたらと思います。



これからも支えあいつながりを大切に、地域に根差した福祉活動を進めてまいります。

## 福祉人材育成事業 つながらうプロジェクト

つながらうプロジェクトは、2019年に「将来の福祉事業に携わる人材を長期的な視点で育成・確保すること」を目標に研修会等を実施し、その中から若手職員の交流の場(サードプレイス)をつくるための協力してくれる人材の発掘を始めました。まずは、研修に参加してくれた人達の中からサードプレイスに興味を持った人材を探し、いくつかの施設職員に声をかけていただきました。



そして、今年5月に16名の有志が集まり、サードプレイス事業の話し合いを始めました。メンバーを2グループに分け、「つなプロA」と「Project C2」というチームを作り、チームごと課題(高校生や福祉現場で働いている同僚に向けた内容)を探し企画、実施する形で福祉の魅力・楽しさ・大切さを発信し、福祉の仕事を知ってもらおう事業です。

11月9日(火)にProject C2の事業「青年の主張」が行われました。「青年の主張」はこれから介護の世界に入る後輩に向けて介護をしていくよかったですことや職場の魅力などを伝える場として、5施設の先輩方に思いを発表していただきました。その中で、介護の3Kと言われる「きつい・汚い・危険」のイメージを払拭する「楽しい・笑顔・働きがい・両立・支え・つながり」などを先輩方から聴くことが出来ました。



福祉人材は、今後も社会から必要とされる仕事です。今回の事業は、今後社協ホームページに掲載し、多くのみなさんに視聴していただけるようにしていきたいと思っています。多くのみなさんに「福祉の魅力」を知っていただけるよう進んでいきます。

## 第41回 市民福祉まつり 開催!!

コロナ禍においても「富士市民のみなさんに福祉を知ってほしい!」との思いから、今年度の市民福祉まつりは形を変え、啓発活動に特化した3種類の内容でおこないます。散歩や買い物ついでにご来場もしくは、SNSでの投稿をお待ちしております。

- ① YouTubeを活用した動画制作**  
 施設や団体のみなさんががんばっている姿や日頃の様子などを発信します。令和4年1月21日に配信予定です。
- ② パネル展示**  
 みなさんにお知らせしたい内容(活動写真や事業のPR、メッセージなど)をパネルにして展示します。  
 日時: 令和4年1月21日(金)~30日(日)  
 場所: 富士市ロゼシアター、タリーズコーヒー富士市中央公園店 など  
 内容: 福祉まつりに参加いただいた施設・団体の紹介等のパネル展示  
 ※特別展示: TOMOKAアート展(自閉症アール・ブリュット作家) ほか、パネル展示では施設等の商品の販売はおこないません
- ③ SNSを活用した自由投稿**  
 まつりの趣旨をご理解いただいた個人・団体のみなさんにそれぞれが持つアカウントでSNSに投稿していただきます。「#市民福祉まつり」を付けた画像やメッセージ等の投稿を通じて、今年の催しを盛り上げてみませんか!!

問い合わせ 地域支援係 ☎64-6605 FAX 64-9040

## フードドライブにご協力を!

市内には厳しい生活状況の中、職を失うなどの理由により、食事に困っている人がいます。そのような人を支援する方法として「フードドライブ」があります。フードドライブは、食料を指定の場所に持ち込んでいただき、NPO法人フードバンクふじのくにを通じて、困っている人に無償でお届けします。みなさまの温かいご支援をお願いいたします。

**実施期間** 令和4年1月4日(火)~1月31日(月)  
平日8:30~17:15

- 回収場所** 富士市フィランセ東館1階 ユニバーサル就労支援センター 富士市役所4階生活支援課 まちづくりセンター他
- 希望食品** 穀類(お米・乾めん等)、缶詰、瓶詰、ふりかけ、インスタント食品、調味料、油、飲料、海苔など、常温で保存のきくもの。  
 ※賞味期限まで、2ヶ月以上あるもの。未開封で中身が破損していないもの
- 問い合わせ** 富士市ユニバーサル就労支援センター ☎64-6969

## 知っていますか? 交通遺児援護事業

この事業は、交通事故によってお父さんやお母さんを亡くされた児童生徒(高校3年生まで)の方を対象に行っています。事業運営は、市民のみなさまから交通遺児へと寄せられた善意の寄附です。(寄附をお寄せくださった方々は、『お元気ですか』に掲載させていただきます。)

- 事業内容**
  - 遺児への見舞金の支給
  - 小・中・高校入学時の祝金の支給
  - 交通遺児等育英奨学生制度
 ※詳細につきましては、下記までお問い合わせください。
- 問い合わせ** 総務係 ☎64-6600

## ボランティアさんのところ



富士市立高等学校教諭 静岡便教会 代表 柿島由和さん

1. ボランティア活動を始めたきっかけは何ですか  
 カー用品イェローハットの創業者である鍵山秀三郎先生との出会いがきっかけです。  
 平成22年10月31日に「第1回静岡便教会」を立ち上げ、主に富士市内の幼稚園、小学校のトイレをお借りして素手で便器を磨いてきました。「便器磨きは自分の心磨き」に繋がります。また東日本大震災復興支援活動では高校生たちと一緒に宮城県石巻市を訪れ通算13回、仮設住宅訪問や漁師さんのお手伝いなどを続けて来ました。また平成29年4月からは「ふじクリンパートナー」に登録し、毎月第4日曜日に富士駅、新富士駅の街頭清掃に取り組みしています。街頭清掃は今年10月で50回目になりました。

2. ボランティア活動を通して出会ったかけがえのないものを教えてください  
 かけがえのないものは3つあります。「自信」「信用」「佳き出逢い」です。大切なものほど目には見えません。静岡便教会を立ち上げて今年で11年になりました。無我夢中で続け「平凡なことを非凡に努める」ことで自信が生まれました。「誰にでもできることを誰にもできないくらい続ける」ことで多くの方から信用され、信頼を得ることができました。そして同じ志を持った方々との縁・佳き出逢いをいただくことができました。3つとも私にとって最幸の宝物です。「日本」の山富士山にふさわしい日本一きれいな街を目指して「これからも小さな実践活動を続けて参ります。」



新富士駅街頭清掃集合写真

## 個人ボランティア登録受付中!

高齢者や障がい者の生活上の簡単なお手伝い、子どもを対象とした学習支援や災害ボランティアなど幅広い内容のボランティア登録を受け付けております。

ボランティアをしたい!という人たちに向けた、ボランティア情報の発信とボランティアのマッチングをより円滑に行えるようにする新しい仕組みです。

問い合わせ  
**ボランティアセンター**  
 ☎ 64-7100  
 FAX 64-9040  
 メール vc@fujishishakyo.com



登録はこちらから!



## ロゼ にじいろクリニック

~こころの架け橋を目指します~

心療内科  
 精神科

診療時間	月	火	水	木	金	土
AM 9:00~12:00	—	○	○	○	○	○
PM 2:00~ 6:00	—	○	○	○	○	○

■休診日: 月曜・日曜・祝日



予約制 ☎0545-61-2416  
 〒416-0953 富士市蓼原町1605(ロゼシアター駐車場南側)  
 ●●ホームページもご覧ください  
 URL <http://rozenjiiro-clinic.com/>

## 広告募集

お元気ですかに掲載する広告を募集しております。

お問い合わせ  
 地域支援係 ☎64-6605

◆内科全般◆ 糖尿病 甲状腺 脂質代謝 内分泌 循環器 消化器  
 ◆外科全般◆ 消化器 乳腺

◆診療時間  
 AM9:00~12:00  
 PM3:00~5:30(受付終了)  
 ◆休診日  
 日曜日・祝日・土曜日午後  
 ◆当院の診療は予約制です。まずはお電話をお願いします。



医療法人社団 青葉会 小松クリニック  
 〒417-0061 富士市伝法1989-66 ☎0545-57-5225  
<http://www.komatsu-clinic.or.jp>